

小松商業同窓会

小松商業高校のなりたち

大正10年4月、当時自由経済の厳しい競争と近代化の嵐の中、生き残ることができる起業家や従業員の育成を求める南加賀産業界の強い要望に応え、町立商業学校が開校された。公会堂を仮校舎としてのスタートだった。その後、昭和3年に新校舎が完成し、町立から県立へと移管し、県立小松商業学校として独立校舎を持つことができた。

昭和22年3月に教育基本法・学校教育法が公布され、現在の6・3・3・4制の教育制度が誕生した。この学制改革により、学校の分離・統合がこのあと続く。昭和23年には小松工業高校と統合し小松実業高校に、翌24年には更に統合され、総合制の小松高校となった。昭和27年には実業過程が分離し、再び小松実業高校となった。

昭和30年代に入り、日本経済は空前の好況期を迎える。高度成長は生活を豊かにし、文化・教育によせる意欲や期待も増加させた。昭和30年代半ばには進学率の上昇やベビーブーム世代の高校進学を控え、高校の増設が課題として浮上する中、商業と工業が分離し、現在の小松商業高校が誕生した。



町立小松商業



県立小松商業学校



県立小松実業高校



県立小松高校



県立小松商業高校(現在：希望丘町)



- 大正10年4月
小松町立商業学校開校
(小松町公会堂を仮校舎として)
- 昭和3年3月
石川県立小松商業学校と改称
- 昭和23年4月
商工合併し小松実業高校設立
- 昭和24年4月
小松高校、小松農業、小松実業が合併し
総合制の小松高校設立
- 昭和27年3月
小松高校より商、工、農、家庭が分離し
小松実業高校を設立
- 昭和38年4月
商、工、分離し島田町に仮校舎とし小松
商業高校を開校
- 昭和39年4月
現在の希望丘町に移転
- 昭和45年
創立50周年(記念碑建立)
- 昭和55年
創立60周年(前庭・中庭整備)
- 平成2年
創立70周年(校門設置・校舎前環境整備)
- 平成12年
創立80周年(同窓会館完成)
- 平成22年
創立90周年(トレーニング場完成)
- 令和2年
創立100周年(記念碑建立・全教室に
プロジェクタ設置・駐車場整備等)
- 令和3年
記念式典挙行(新型コロナウイルス感染症のため1年延期して実施)

同窓会では、卒業生を学校の変遷に合わせて、次のような略称で呼んでいます。

- ◆大正10年～ 町立小松商業学校・・・「旧商卒業」
- ◆昭和24年～ 総合制の小松高等学校商業科・・・「高商卒業」
- ◆昭和27年～ 県立小松実業高等学校商業科・・・「実商卒業」
- ◆昭和38年～ 小松商業高等学校・・・「新商卒業」

令和6年3月に卒業を迎える現3年生は「新商59回卒業」となり、現在までに15,000名を超える卒業生を輩出しています。



創立50周年
記念碑建立

世の中で一番長く仕事を持つと云ふ事は、一生を貫く仕事を持つと云ふ事です。福澤諭吉翁



創立90周年
トレーニング場完成



創立80周年
同窓会館完成



創立70周年
校門設置・
校舎前環境整備



創立60周年
前庭・中庭整備



駐車場整備



プロジェクタ設置

創立100周年



前庭整備



記念碑建立

恒例の「小松商業同窓会総会・懇親会」が4年ぶりに開催されました!

新型コロナウイルス感染症のため、令和2年～4年までの間実施を見送ってきた「総会・懇親会」が、令和5年10月14日(土)に盛大に開催されました!

大勢の同窓生が久しぶりに集まり、創立110周年に向けて新たにスタートを切りました。

